

平成20年度入学式

学長告辞

お茶の水女子大学に入学された528名のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんをお茶の水女子大学の新しいメンバーとしてキャンパスにお迎えできたことを、心から嬉しく思います。

みなさんはいま、念願叶ってこの入学の日を迎えられて、感激で胸がいっぱいでしょう。また、この日までの長い年月、お嬢様の教育に心を砕かれ、ご成長を見守ってこられたご家族のお喜びもひとしおと、心よりお祝い申し上げます。

本学は1875（明治8）年11月、東京女子師範学校として開学いたしました。日本で最初の女子のための高等教育機関です。今から133年前のことになります。のちに、東京女子高等師範学校となり、通称は女高師と呼ばれておりました。開学当時の設立場所は文京区大塚ではなく、湯島、現在の東京医科歯科大学のあるJR御茶ノ水駅の近くでございました。その後、関東大震災により大きな被害を受けまして、現在のこの大塚の地に新たに校舎が建てられました。震災の教訓をいかしまして頑丈につくられましたこの徽音堂、そして徽音堂を取り巻く大学本館は、ここ4年に渡る改修で装い新たに甦りまして、大学正門と附属幼稚園園舎とともに、国の登録有形文化財として本年3月、登録されたばかりでございます。

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性のために、真摯な夢の実現の場として存在することを使命としています。そしてそれは、本学が女子大学だからこそ実現可能なのだと確信しています。

女子大学の最大のメリットは、女性同士がお互いに切磋琢磨して成長していけることです。さらに、本学の場合は、少人数教育で先生方の目が一人ひとりに行き届きます。ですから、徹底的に鍛えられます。また基礎教育を重視していますので、違う専門分野に移ったとしても応用が利き、結果として幅広い可能性を手に入れることができます。女性だけで、少人数で、しかも基礎教育を重視するということが、お茶の水女子大学の教育の基本です。

さらに、本学の最大のアピールポイントは、世の中のさまざまな分野で活躍できる女性リーダーを育てるための最適な環境条件が整っていることです。本学の卒業生には社会の指導的な立場で活躍している方が大勢いらっしゃいます。とくに研究職、教育職について活躍された方々は全国の隅々まで行き渡っています。優れた女性リーダーを育む校訓と伝統は、現在まで絶えることなく続いております。

現在、86の国立大学法人のなかで本学と奈良女子大学の2つが女子大学として存在しております。私立の女子大学には女性の学長も数多くおられますが、学長が女性である国立大学法人は本学のみで、さらに女性の副学長がいる国立大学法人は4校で5名という少なさです。そのなかの4名は本学の出身者でございます。ここにも、本学の使命の実現の一端が現れております。

世界がグローバル化するなかで、本学では新たに国際本部をつくり、国際性を豊かにするための準備も始めました。この2月にはタイのバンコクに、初めての海外拠点としてお茶の水女子大学のオフィスを設立し、その開設のレセプションには、本学の卒業生が大勢駆けつけてくれました。また、世界中の有力大学とも大学間協定を結び、さかんな国際交流が行われております。このように、現在、本学は新たな時代を迎え、リーダーシップをそなえ国際的な視野で活躍できる女性の育成をおこなっていきたくと考えています。



また、本学の新たな教育方針として、リベラルアーツを全学で進めることとしました。昨年度から「お茶の水女子大学論」という授業を始めましたが、これは学部をこえて大学全体で運営しております。お茶の水女子大学はどういう大学なのか、どのような先輩を輩出してきたのか、大学生活を有意義に過ごすためには何をすればいいのか、先生方、また先輩と一緒に考えていきましょう、というものです。そして、今年度から「21世紀型文理融合リベラルアーツ」教育を開始いたします。知識基盤の社会を担っていくためには多様な思考、多様な行動ができる人が求められており、また少子高齢化が進んでいくなかで、女性にかけられた期待は非常に大きいのです。本学のリベラルアーツ教育も、このような社会の要請、世界の趨勢によって生まれたものです。

みなさんには、このお茶の水女子大学のキャンパスで4年間の大切な時期を過ごしていただきたいと思います。先生方との出会い、友人たちとの出会いを大切にしてください。本学の教員は40%が女性です。その方たちはみなさんにとっての良きロールモデルとなり、これからいろいろなキャリア、あるいは人生を設計していく際のお手本となることでしょう。また、約2万人におよぶ本学卒業生もみなさんに熱い期待を寄せ、いつでも本学のために協力したいとおっしゃっています。どうぞ、教員、友人、卒業生との出会いを大切にしてください。そして、大学で学ぶことにより、英知をみがき、女性が生涯を通じて個人としての自己を確立し社会への参加を貫いていくことの大切さを身につけていただきたいと思います。

お茶の水女子大学は比較的小さな大学でございますが、大きな大学とは違うよさをさまざまにそなえた、きらりと光る宝石のような大学であると思っています。そして、本学入学されたみなさんのお一人お一人が、私たちにとってとても大切な宝物でございます。これから4年間、本学での生活を豊かにそして有意義に過ごしていただきたいと祈念いたしております。

（抜粋）

平成20年度入学式

学長告辞